

# 5-1 第2次 安城市

## 多文化共生プランで やったこと

### が 概 要



つながる。かなえる。健康のまち、安城

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

## 第2次安城市多文化共生プランの 全体図

**第2次プランですることの全体図**

だれもが安心して暮らせる  
多文化のまち安城

6年後にめざすこと

①日本人も外国人も関係なく、自分からあいさつをしたり、話しかけたりして、お互いを理解しています。  
 ②外国人市民の暮らしの心配が減っています。子どもも夢をもって暮らしています。  
 ③多文化共生をみんながわかります。  
 ④外国人市民も地域で役割があり、活躍しています。

目標	2017年度	2024年度
多文化共生がわかる日本人市民	33.6%	50%
地域のまつりや仕事に参加したことのある外国人市民	55.2%	60%
安城市を住みやすい場所だと思う外国人市民	87.5%	90%
高校などの学校に入る外国人の中学生	82.5%	91%
多文化共生に関係する市民団体の数	5団体	8団体

基本の考え	主にすること	主にすることの例
[1] 多文化共生の考えを知っている人を増やす	(1) 多文化共生の意味をわかるようにする (2) 外国の文化を知ったり、外国と交流する	<b>子ども日本語教室を手伝う</b> 外国人市民の子どもが、学校の地でも日本語を勉強したり、自分で勉強する場所を増やすことを手伝います。 
[2] 外国人市民が勉強できる場所などを増やす	(1) 日本語を勉強できる場所を増やす (2) いろいろな場所や時間に勉強できるようにする	<b>話したり伝えるための道具を上手に使う</b> 市役所の職員が外国人市民と話すときに、「指さし会話ボード」、「音声翻訳ソフト」、「通訳機」などの道具を上手に使用します。 
[3] 日本人市民と外国人市民が話したりできるようにする	(1) 日本人も外国人もお互いに話しかけやすくする (2) 日本人と外国人が気軽に交流できる場をつくる	<b>子どもを育てている人が集まる場所をつくる</b> 子どもを育てる外国人市民などが、気軽に集まったり、いることができる場所をつくります。 
[4] たくさんの外国人市民にわかりやすく情報を伝える	(1) 市役所からのお知らせを外国人市民にも伝わりやすく (2) 外国人市民にわかりやすく情報を伝える仕組みをつくる (3) 外国人市民へのいろいろな情報を増やす (4) 建物やまちの案内などをわかりやすくする	<b>外国人市民が相談できる場所を増やしたり、相談しやすいようにする</b> 外国人市民が相談しやすくなるように、市役所の市民相談は、相談できる場所を増やしたり、わかりやすく相談できるようにします。外国人の悩みや得意な人との協力も考えます。 
[5] 外国人市民の暮らしの不安を少なくする	(1) 子どもを産んだり育てる時の不安を少なくする (2) 子どもが育つことや、将来活躍することを応援する (3) 地震や台風などが起きた時の不安を少なくする (4) 生活の中で起きる困ったことに応える	
[6] 外国人市民が地域で活躍できるようにする	(1) 外国人市民が地域の仕事などに参加することを手伝う (2) 外国人市民に地域の仕事を手伝ってもらう (3) 外国人市民の考えを聞く場所をつくる	
[7] 多文化共生を手伝う人を探す、育てる	(1) 多文化共生に興味がある人を探す、育てる (2) 多文化共生の活動がたくさんある	

# 1. 多文化共生の考えを知っている人を増やす

(1) 多文化共生の意味をわかるようにする

③ 外国人市民のことをみんなに伝える

## ◆ パネルを展示する

- ・ イベントの会場等にパネルを展示して、外国人の人口や国籍等を伝える。

## ◆ 講座や研修を開く

- ・ 外国人の人口や、外国人が困ることについて伝える。

回数	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
パネル	3回	1回	1回	2回	3回
講座・研修	5回	4回	6回	5回	4回

※2023年度は予定

# 1. 多文化共生の考えを知っている人を増やす

(1) 多文化共生の意味をわかるようにする

③ 外国人市民のことをみんなに伝える

## ◆ 外国人の統計をオープンデータにする

- ・ 2022年6月30日の統計からオープンデータにする。
- ・ 6月末と12月末の統計をオープンデータにしている。
- ・ オープンデータの内容は、「在留資格×国籍別人口」と「町×国籍別人口」の2つ。

<https://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/opendata/opendata-gaikokujin.html>



## 2. 外国人市民が勉強できる場所等を増やす

### (1) 日本語を勉強できる場所を増やす

#### ④ 日本語を教えるボランティアを育てる

##### ◆ 外国人を助けている人と意見を交換する会

(2022年3月5日)

- ・実際に、外国人が困ったことを聞いて、どうすれば良いか、みんなで話し合った。愛知県国際交流協会と協力した。



## 3. 日本人市民と外国人市民が話したりできるようにする

### (2) 日本人と外国人が気軽に交流できる場をつくる

#### ② (仮の名前) 多文化共生サロンをつくる

##### ◆ 多文化子育てサロンを開く

- ・子どもを育てている外国人が、子育てについての話が  
できる場所。

- ・日本人と外国人が交流できる場所。

回数とテーマ	1回目	2回目	3回目	4回目
2020年度	子どもの栄養	がっこう学校	-	-
2021年度	ぼうさい防災	がっこう学校	こそだ子育て	-
2022年度	ぼうさい防災	じどうせんたー児童センター	としょかん図書館	た食べること
2023年度	きゅうきゅう救急・SOS	ふりーてーまフリーテーマ	ふりーてーまフリーテーマ	がっこう学校

## 4. たくさんの外国人市民にわかりやすく情報を伝える

(3) 外国人市民へのいろいろな情報を増やす

③いろいろな情報が集まる場所を用意する

◆安城市に引っ越してきたときにガイドブック等を配る

・配っているもの(①~⑤は外国語に翻訳している)

①生活ガイドブック ②ごみの分け方や出し方がわかる本

③あんくるバスの路線図と時刻表 ④防災ガイドブック

⑤地震ハザードマップ

⑥安城市の税金等をいつまでに支払うのかわかる表

⑦安城市にあるいろいろな建物のことがわかる本

⑧電車やバス等の使い方がわかる本

## 4. たくさんの外国人市民にわかりやすく情報を伝える

(3) 外国人市民へのいろいろな情報を増やす

③いろいろな情報が集まる場所を用意する

◆SNSを使う

・FacebookとInstagramに、いろいろな情報を載せる。

回数と ふおろわー フォロワー	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
Facebook	38回	102回	133回	64回	68回
ふおろわー Lフォロワー	282人	466人	635人	694人	764人
Instagram	-	-	-	54回	68回
ふおろわー Lフォロワー	-	-	-	214人	306人

※数字は、それぞれの年度末時点(2023年度のみ、資料作成時点)

## 5.外国人市民の暮らしの不安を少なくする

(2) 子どもが育つことや、将来活躍することを応援する

⑧外国人の子どもに進路や進学について教える

◆中学校を卒業した後の進路や進学

・担任の先生や、日本語適応指導教室の先生が外国人枠

のある高校や、よく助けてくれる高校等を教える。

・外国人の子どもだけを集めて、進路や進学について

教えている学校もある。

## 5.外国人市民の暮らしの不安を少なくする

(4) 生活の中で起きる困ったことに応える

②外国人市民が市役所に相談しやすくする

◆通訳できる職員が外国人市民の相談を聞く

・市民課に、ポルトガル語、中国語、フィリピン語、ベトナム語の

通訳職員が1名ずついる。

・相談が多い国保年金課と社会福祉課に、ポルトガル語の

通訳職員が1名ずついる。

# 5.外国人市民の暮らしの不安を少なくする

## (4) 生活の中で起きる困ったことに応える

### ②外国人市民が市役所に相談しやすくする

#### ◆通訳システムを使って外国人市民の相談を聞く

でんわつうやく  
・電話通訳

せんよう ばんごう  
専用の番号(0566-71-2299)に

でんわ つうやく はな そうだん  
電話すると、通訳と話しながら、相談できる。

てれびでんわつうやく  
・テレビ電話通訳

たぶれっと つか つうやく はな  
タブレットを使って通訳と話す。

てれびでんわ かみなど み はな  
テレビ電話だから、紙等を見せながら話すことができる。



# 5.外国人市民の暮らしの不安を少なくする

#### ◆市民課の通訳職員と通訳システムの相談件数

相談件数	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
市民課 通訳職員	945件	1,177件	1,387件	1,548件	1,167件
電話通訳	235件	1,382件	1,280件	693件	518件
テレビ電話 通訳	287件	554件	467件	464件	207件
合計	1,467件	3,113件	3,134件	2,705件	1,892件

※2019年度は9月以降の件数。

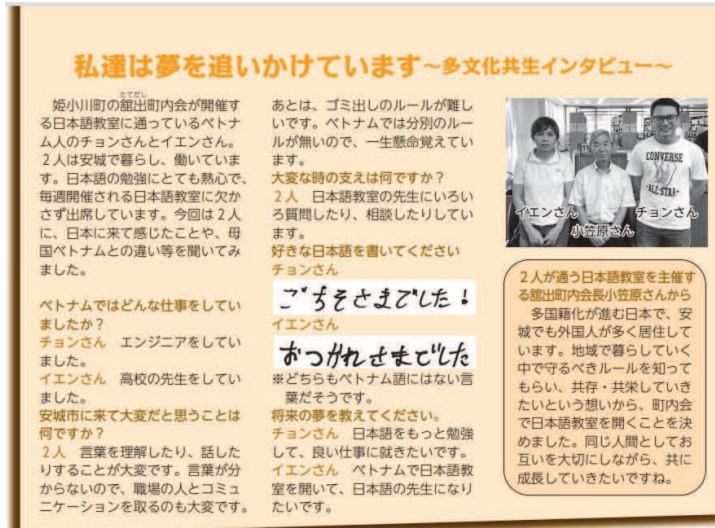
※2023年度は12月末時点までの件数。

がいこくじんしみん ちいき しごと てつだ  
(2)外国人市民に 地域の仕事を 手伝ってもらう

ちいき かつやく がいこくじんしみん しょうかい  
②地域で 活躍している 外国人市民を 紹介する

こうほう しょうかい  
◆広報「あんじょう」で 紹介する

にほんごきょうしつ さんか がいこくじんしみん いんたびゅう  
・日本語教室に 参加した 外国人市民に インタビューした。



ねん がつ にちごう  
※2019年11月1日号

たぶんかきょうせい てつだ ひと さが そだ  
7.多文化共生を 手伝える 人を 探す、育てる

たぶんかきょうせいかつどう かつどう  
(2)多文化共生活動の 活動が たくさんある

かり なまえ たぶんかきょうせい さろん さいけい  
②(仮の名前)多文化共生サロンを つくる【再掲】

たぶんかこそだ さろん ばしょ かんが  
◆多文化子育てサロンの 場所を 考える

にほんじんしみん がいこくじんしみん きがる こうりゅう  
・日本人市民と 外国人市民が 気軽に 交流できるように、  
サロンが できる 場所を 探した。

ねんど ため しやくしょ ちょうしゃ さろん  
・2023年度から、試しに、市役所の さくら庁舎で サロンを  
ひら 開くことにした。

おとなむ にほんごきょうしつ ちょうしゃ ひら  
・大人向けの 日本語教室も さくら庁舎で 開くことにして、

ちょうしゃ にほんじんしみん がいこくじんしみん きがる  
さくら庁舎を 日本人市民と 外国人市民が 気軽に  
こうりゅう ばしょ  
交流できる 場所に している。

ないよう 内容	ねんど 2017年度	もくひょう 目標	ねんど 2023年度	ひょうか 評価
たぶんかきょうせい にほんじんしみん 多文化共生が わかる 日本人市民	33.6%	50%	45.1%	B
ちいき しごと 地域の まつりや 仕事に さんか 参加したことの ある 外国人市民	55.2%	60%	51.7%	C
あんじょうし す 安城市を 住みやすい ばしょ おも がいこくじんしみん 場所だと思 外国市民	87.5%	90%	87.4%	C
こうこうなど がっこう はい 高校等の 学校に 入る がいこくじん ちゅうがくせい 外国人の 中学生	82.5%	91%	80.6%	C
たぶんかきょうせい かんけい 多文化共生に 関係する かつどう しみんだんたい かず 活動をしている 市民団体の 数	だんたい 5団体	だんたい 8団体	だんたい 9団体	A

もくひょう ふ ねんど ふ ねんど へ  
 A:目標より 増えた B:2017年度より 増えた C:2017年度より 減った

だい じ ぷらん たいせつ  
**第3次プランを つくるときに 大切にすること**

- ▶「多文化共生が わかる 日本人市民」は、2017年度から  
 11.5ポイント 増えたが、目標を 超えることは できなかった。  
 多文化共生の 大切さを 伝えたり、日本人市民と 外国人市民  
 が 交流できる 場所を つくったりすることが 必要である。
- ▶「地域の まつりや 仕事に 参加したことの ある 外国人市民」  
 は、2017年度から 3.5ポイント 減った。  
 外国人市民に うまく 情報を 届けることや、外国人市民が  
 地域の まつりや 仕事に 参加できるような 仕組みを つくる  
 ことが 必要である。



- ▶「安城市を 住みやすい 場所だと 思う 外国人市民」は、  
2017年度から 0.1ポイント 減った。  
外国人市民が 困ったとき、市役所等に 相談しやすく すること  
や、子どもを 育てやすくなるよう 助けていくことが 必要である。
- ▶「高校等の 学校に 入る 外国人の 中学生」は、2017年度  
から 1.9ポイント 減った。  
外国人の 子どもと 保護者に、日本の 教育制度を 知って  
もらうことが 必要である。  
また、子ども向けの 日本語教室が できるように 手伝い、勉強  
できる 場所を つくる ことも 必要である。

- ▶「多文化共生に 関係する 活動をして いる 市民団体の 数」  
は、9団体で 目標より 増えた。  
これからは、市役所が、市民団体の 活動を 助けたり 協力  
したりして、安城市が 一つになって 多文化共生に 取り組んで  
いく 仕組みを つくる ことが 必要である。